

11月15、16日にオンライン生中継で開催される第9回日経・FT感染症会議では、第4回野口英世アフリカ賞の受賞者を招いた基調講演を予定しています。同賞はアフリカでの感染症などの疾病対策などのため、医学研究や医療活動において顕著な功績を挙げた人や団体を日本政府が顕彰するもので、今回は2氏、1プログラムが受賞。8月にチュニジアで開催された第8回アフリカ開発会議（TICAD8）で授賞式が開かれました。会議に先立ち受賞者から寄せられたメッセージを紹介します。

戦いは終わらない——。

【医療活動分野】



アダム・ウエイイス氏
（カーター・センター
ギニア虫症撲滅プログラム代表）

歴史的な根絶キャンペーンに支援を

米国の非政府組織（NGO）であるカーター・センターは、病原体となる寄生虫に汚染された飲み水から感染する「ギニア虫感染症」の根絶キャンペーンを主導している。各国保健省や地域のコミュニティ、米疾病対策センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、国連児童基金（ユニセフ）と密に連携。ギニア虫感染症は、天然痘に続いて、史上2番目に根絶される人類の病気になる可能性がある。寄生虫症として、またワクチンや治療薬を使わないで根絶される病気としては初めてのものだ。1986年にはアフリカとアジアの21カ国で推計350万人の人々が苦しんでいた。カーター・センターとパートナーの働きによって、感染例は99.99%以上減少し、2021年に確認された感染者は15例だった。

日本の読者のみなさんには、この歴史的な根絶キャンペーンを支援いただけるように願っている。カーター・センターは、日経・FT感染症会議の場で、私たちの取り組みを紹介できるのを楽しみにしている。

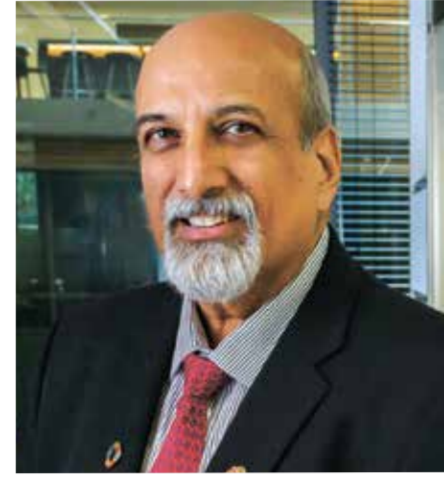
【医学研究分野】



カライシヤ・
アブドウル・カリム博士
（南アフリカ共和国）

新型コロナウイルスとHIV…進むべき道は

2021年、エイズウイルス（HIV）と生きる人は3840万人、死亡者は65万人、新規感染者は150万人に上った。感染者の診断率などを90%に高める目標「90-90-90」と、簡素な治療計画開発をめざし地球規模で大きく進歩したが、「治療による予防」は流行を抑えるような影響力がなく、病気にかからない「一次予防」の必要性が浮き彫りだ。要所となる脆弱な集団を守ることが、国連の持続可能な開発目標であるエイズ終息のカギとなる。暴露前予防投薬（PrEP）の計画的拡大が進む一方、患者のアドヒアランス（順守）には依然課題が残る。新型コロナウイルス感染症はHIVの検査などにマイナス影響を与え、免疫力が低下している人の中で新型コロナの変異型を含む持続感染が確認されている。国連の目標をめざすことは、HIV感染が風土病になるための大切な道となるが、新しい課題と機会を考慮に入れる柔軟性が欠かせない。このことは25年の「95-95-95」よりも高い目標が求められ、スティグマや不平等に対処する主導的なPrEPとカスタマイズされた複合的な予防、的を絞った優先順位付けとエビデンスに基づくアプローチをもたらすものだ。グローバルな連帯と責任の共有によって可能になる。



サリム・S・
アブドウル・カリム博士
（南アフリカ共和国）

パンデミックに備える積極的な官民連携

ジカウイルス、エボラ出血熱、サル痘などの流行や新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックをまさに経験したように、人間が動物の生息地を侵食し、気候変動の打撃を受けている以上、私たちは将来さらなるパンデミックに見舞われると考えておく必要がある。パンデミックは、初期の局所的な発生にとどまるチャンスに予防するのがベストだ。従って早期の発見と対処が肝心となる。新型コロナでは政府の公衆衛生機関、学術研究拠点、民間のバイオテクノロジーの検査やワクチン関連企業が早期の対処において重要だった。効果的な早期の対処には確立された研究、サーベイランス、流行の情報インフラが必要で、しばしば官民連携が求められる。例えば企業であるモデルナと米国立衛生研究所（NIH）とのパートナーシップにより、新型コロナの最初の症例が報告されてから1年以内にモデルナのワクチンが使えるようになった。政府、アカデミア、民間企業が今、次なるパンデミックを見越してこうしたパートナーシップを始め、確立することが欠かせない。

NIKKEI FT
Communicable
Diseases
Conference

第9回日経・FT感染症会議

2022年11月15日(火)・16日(水) 開催

東京感染症ステートメント 2021

第8回会議でのステートメント全文はこちら

https://adweb.nikkei.co.jp/kansensho2021/images/8thnfc_statement2021_ja.pdf



第9回日経・FT 感染症会議
公式サイト

視聴の事前登録はこちらから

<https://cdc.nikkei.com/>



主催：日本経済新聞社
共催：Financial Times
後援：内閣府野口英世アフリカ賞担当室、外務省、厚生労働省、経済産業省、文部科学省

特別協賛



協賛



企画協力

